



西本さん



横田さん

ミハラシニア編集室ママライター(三原歴8年と17年)が行く

# 未来へつなぐ大切な絆

コロナ禍で祭りやイベントのあり方は大きく変化しましたが、開催する人の思いや地域の絆はずっと大切にしていきたい。市民ママライターがそんな思いや絆を独自取材します。

## 第11回

### 大和町福田自治振興会盆踊り

開催時期：8月13日(土)

特徴：夏祭りのトリを飾る口説くどきと呼ばれる唄に合わせて踊る盆踊り



止めてしまうのは簡単ですが、地域の伝統行事として続けていきたいです。右から福田地区自治振興会会長 室谷さん(中央)、近宗さん(右)、新田さん(左)

「三原市公式note」で記事掲載中!



夏祭りの最後を飾る地域の盆踊り

口説くどきに合わせて盆踊りを舞う

大和町の福田地区ではお盆の時期になると、夏祭りが開かれます。コミュニティホームの前に夜店が並び、地元の人や帰省してきた人たちで、大いに盛り上がりです。祭りの最後には、櫓かぶつの周りで盆踊りが行われ、締めくくられます。平成30年7月豪雨により一度は中止となり、翌年に再開したものの、コロナの影響で再び中止に。今年はやっと再開できる予定です。

盆踊りは大和町の九つの地区ごとにある「口説」と唄に合わせて踊るのが特徴。地区によって歌詞や節に違いがあり、福田地区では、「ヤンサ」や「三角踊り」と呼ばれる口説などに合わせます。担い手がおらず中止した年もありましたが、平成18年に復活させて歌い継いできました。今後も続いてほしい地元で愛される伝統行事です。



## 第11回

# 市長 × 入道雲



夏の遊びを、思いっきり!

夏の盛りですね。空を見上げると、入道雲がもくもくとわきたち、上昇気流によって発達した勇ましい姿からエネルギーをもらえる気がします。夏の季節として、「入道雲が使われた俳句がたくさん詠まれているように、多くの人が雲の峰に思いをさせてきたことがうかがえます。

机上で理解するだけでなく、身近な自然現象に興味を持つことで、夏の思い出が一つ増えるかもしれません。  
子どもの頃、私は海・山・川で思い切り遊んだ思い出がたくさんあります。自然の中の遊びから学んだことは、一生の宝物です。子どもも大人も入道雲に誘われて、夏を思いっきり楽しんでください!

Hella!  
MIHARA  
三原市初!ハワイ出身の国際交流員コラム  
Vol.11



国際交流員 横川あいさん

## Bosai教室in Mihara

外国籍住民対象のBosai(防災)教室を開催しました。市危機管理課や消防本部から災害への備えや市で起きた災害の事例、救急搬送についての説明があり、私からは災害時に便利な多言語情報発信アプリやウェブサイトを紹介しました。

ハワイは災害が少なかったため、今回の教室で学ぶことがたくさんありました。また、アメリカでは救急車を呼ぶのは有料ですが(ハワイでは約5万円~)、日本では無料と聞いて驚きました。無料なのでけがや病気などの緊急時には、ためらうことなく救急要請ができますね。

このような正しい情報を知っておくと緊急時に役に立つので、一番大切なのは普段からの備えだと、改めて思いました。

●多言語相談窓口(市役所本庁4階)  
問経営企画課(TEL)0848-67-6270 (FAX)0848-64-7101)